

ほうへいかいほう

Vol.74 2015.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161

C O N T E N T S

●同窓の夕べ	2
●結成 60 周年記念式典	3
●第 7 回ホームカミングデー	4
●卒業おめでとう	5
●2015 年度入試動向	6
●就職戦線	7
●輝く北のまち紹介リレー 余市町	8
●研究室のいま 平野研准教授	9
●卒業生奮闘記	10
●現役学生インタビュー	11
●OPEN SPACE	12
●支部紹介「北見支部」	13
●支部だより	14
●支部現況・連絡先	15
●クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ	16



フリーフォームレスジャズオーケストラ

同窓会結成60周年

平成26年度

「同窓の夕べ」

総会 祝賀会 懇親会

人生意気に感じては

平成26年度の「同窓の夕べ」が10月25日(土)午後6時から札幌パークホテルにて開催され、道内外からの同窓生・学園・大学関係者ら800名以上が出席した。

総会は、関寛副会長の開会宣言で開催され、森本正夫会長の挨拶、高田哲也事務局長の事業報告が行われた。

引き続き懇親会と同窓会結成60周年記念祝賀会も同時進行で開催され、木村和範学長の祝辞、鏡開き、北海道高等学校、山崎省一校長の乾杯の音頭の後、「吹奏楽団」の演奏、「よさこいソーランチーム粋〜IKI〜」の演舞で盛り上がりつつ。そして応援団OBと現役生による「今昔演舞合戦」では、渡邊伸也初代応援団長による口上や北海名物どじょうすくい、現役チャリダー・応援団・ブラスバンドの競演で会場を沸かせた。

また、恒例の『学園グレイトビンゴ』は、豪華な景品が多く提供され盛り上がり、特賞の台湾ペア旅行は、高橋信重氏(昭58経)が見事獲得!

最後に第59代現役応援団長 石井詩朗氏(人文学部3年)のエールで『学生歌』を全員で斉唱し、関寛副会長の三本締めで幕を閉じた。

平成27年度の総会・懇親会は

10月24日(土)午後6時より

札幌パークホテルで開催します。



受付にて



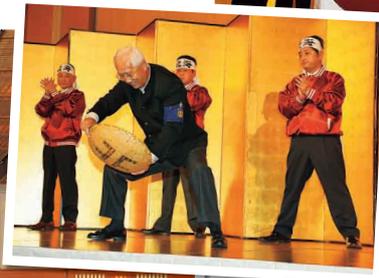
支部長紹介



鏡開き



吹奏楽団



北海名物
どじょうすくい

森本正夫
同窓会会長



よさこいソーランチーム粋〜IKI〜



海外旅行を見事ビンゴ!



現役応援団長と
チャリダー

初代応援団長
渡邊伸也氏
による口上



同窓会結成60周年記念式典

平成26年10月25日(土)午後4時から札幌パークホテル3階エメラルドにて同窓会結成60周年記念式典が開催された。

関寛同窓会副会長の開式の辞で始まり、森本正夫同窓会会長の式辞、木村和範学長の祝辞に続き、永年の同窓会活動への功績を称え、森本正夫同窓会会長より支部、支部長、評議員、役員に感謝状と記念品の贈呈が行われた。



感謝状贈呈

支 部

豊陽会	北門会	空知	東京支部首都圏会
苫小牧	釧路	札幌東区	つうけん
木端会	北門会	北翔会	ゆうほう会
北海学園大学	道南	小樽	関西
会計学友会	静内	伊藤組土建	江別市役所
東園会	千歳	帯広信用金庫	経三期会
経五期会	経六期会		

支 部 長

花井 啓司	福田 和夫	金澤 治	佐藤 寿一
澤 定夫	増本 裕治		

評 議 員

小野 道男	早坂 久良	後平 邦彰	後藤 厚
植木 等	菊地 伸樹	松村 義則	大宗 久
伊藤 一志	塩田 恒雄	大石 直次	熊木 淳
引地 俊一	國安 政典	高野 勝義	清野 満
藤本 哲也	菅原 功	渡部 理	篠原 勇次
桑山 和夫	奥山 敏康	田下 茂夫	日下 哲
田辺 博行	杉田 孝二	板垣 俊夫	櫻井 淳
谷本 久宜	上野 一也	平野 一紀	江谷 清和
屋代 隆宏	平野 彰	萬年 清隆	藤原 英行

※紙面の関係上、役員の上賞者は省略いたします。



第7回 ホームカミングデー

2014年10月11日(土)

卒業生の皆さまに在学生や教職員、そして地域住民の方々と交流を深めてもらう「ホームカミングデー」が2014年10月11日(土)開催されました。菅原秀幸経営学部教授と平野研経済学部准教授による講演会、OBによる野菜・果物販売、カイロ施術などの催しに約200名の方が参加しました。

第2回「学園かえるカフェ」 BOP ビジネス入門

今年2回目となる「学園かえるカフェ」では、途上国の貧困問題や社会問題をビジネスを通して解決する手法のBOPビジネスについて菅原秀幸経営学部教授、フェアトレード(公平な貿易)について平野研経済学部准教授、そして進行役に樽見弘紀法学部教授をお迎えして開催されました。

写真や図を使っの丁寧な説明に来場者は真剣に聞き入っていました。

また、来場者にフェアトレードのお菓子とお茶が提供されました。



「無料カイロ施術」

日本カイロプラクティックドクター専門学校札幌校の生徒さんたちによる無料カイロ施術は大好評で予約待ちの状態でした!



「北海マルシェ」

学園大OBによる野菜・果物産直市

“江別産朝採り野菜”と“余市産朝採り果物”を市価よりも安く販売しました。



「学食deランチ」

おしゃべりをしながら楽しいランチタイム!



写真部OB北彩会「写真展」

すばらしい写真が多数展示されました。



新会員に期待する

会長 森本 正夫



北海学園大学・同大学院の学生生活を終え、晴れの卒業証書・学位記を手にし、社会に雄飛される諸君に心からお慶びを申し上げます。

本日から北海学園大学同窓会の会員として新たに仲間入りしていただくことになりました。若く実行力に富む皆様をお迎えできることは本会としては何ものにも替えがたい力強さを感じるものであり、心から歓迎を申し上げます。

ご承知のように、北海学園大学は昭和25年に北海道短期大学として発足し、27年には北海道における最初の4年生の私立大学として創立されました。今日では5学部12学科、各学部には大学院（博士課程）を有する道内最大の私立総合大学として、教育・研究実績が高く評価されてきています。

同窓会の発足は1期生が誕生する昭和29年3月であります。1期生と2期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために同窓会を創ったのがはじまりです。昨年結成60周年を迎えました。

ここで改めて述べるまでもなく、同窓会は独立して存在するものではなく、常に母校北海学園大学の発展と一体となって将来を展望するとともに、会員82,000余名のひとりひとりがその重要な役割を充分にはたさなければならぬと考えています。私立大学を取りまく環境は、近年の長引く経済不況、そして回復の目途が立たない少子化社会の到来等、厳しいものがあります。

このような時期に、皆様を会員として迎えることは、大変力強いことであり、社会人としての活躍を期するとともに、会員として母校発展のため、大いに協力をお願いし、歓迎の言葉といたします。

卒業おめでとう



卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
- Q2 大学で頑張ったこと
- Q3 4月からは…(進路等)
- Q4 あなたにとって『仲間』とは？

人文学部日本文化学科 村岡 里美
所属ゼミ / 大石和久ゼミ



- Q1 素晴らしい人たちに出会えたことです。友人や先生、職員の方々に恵まれ、充実した4年間を送ることができました。
- Q2 勉強です。苦手な科目にもコツコツと取り組み、大学でしか得られない専門的な知識などを身に付けることができました。
- Q3 製菓会社で販売職として働きます。お客様の幸せな時間や笑顔のために、邁進していきたいです。
- Q4 自分を支えてくれた全ての人です。どんな時でも傍に居るかけがえのない存在であり、今後も大切にしていきたいと思っています。

経済学部地域経済学科 長谷川文香

所属ゼミ / 高原ゼミ
所属サークル等 / 北海学園生協学生委員会 (G'stAff)



- Q1 就職活動に対する支援が充実していたことです。特に、キャリア支援センターの方々の親身なサポートには、本当に感謝しています。
- Q2 サークル活動です。生協でのイベント企画など、多くのメンバーと協力して取り組んだ活動は良い経験になりました。
- Q3 国家公務員として働きます。人々が安心して暮らせるように、日々努力をしていきたいと思っています。
- Q4 共に支え合いながら物事に取り組んできた人々です。また、自分を成長させてくれた存在でもあり、今後も大切にしたいと思います。

工学部・電子情報工学科 井桁 将俊
所属ゼミ / 平田卒研



- Q1 就職活動のサポートが手厚いことです。親身にサポートして下さったおかげで、満足のいく結果を得ることが出来ました。
- Q2 就職活動をがんばりました。
- Q3 電気機器メーカーに就職します。お客様により良いソリューションを提供出来るよう日々成長していきたいです。
- Q4 かけがえのない財産です。今後も大切にしていきたいです。

経営学部経営情報学科 田淵 恭兵

所属ゼミ / 小島ゼミ
所属サークル等 / 陸上競技部



- Q1 学業、部活動が充実していて文武両道の大学生活を送れたことです。どの分野も刺激し合える仲間がいる学園に誇りを持っています。
- Q2 陸上競技部での活動です。部員の声援を糧に走高跳で198cmの自己ベストで優勝し、表彰台から見た景色は忘れられません。
- Q3 東京を中心にノベルティやPOP、集客イベントのようなセールスプロモーションを手掛ける営業マンとして働いていきます。
- Q4 自分に無いものを持っている存在。お互い考えを共有し、切磋琢磨することで成長でき、楽しい時間を過ごせる大切な繋がりです。

大学院工学研究科建設工学専攻 工藤 正行
所属ゼミ / 杉本博之研究室
所属サークル等 / 生命哲学研究会



- Q1 学生生活を支援する体制が充実していることです。教職員の方々と学生の距離が近いおかげで、充実した学生生活を過ごせました。
- Q2 学業です。学部時代のカリキュラムが整っていたため、就職活動の大きな助けとなりました。
- Q3 札幌市職員として働きます。市民の皆様が安心して生活できる環境をつくるために尽力します。
- Q4 とともに成長し合えた存在です。彼らとともに次世代の社会を担う人材に成長して参ります！

法学部・法律学科 白幡 瞭

所属ゼミ / 草間ゼミ
所属サークル等 / ラグビー部



- Q1 たくさんの尊敬できる人に出会えたことです。周囲の環境が私の視野や考え方を広げてくれたことに本当に感謝しています。
- Q2 部活動です。部員不足や指導者不在等、困難なこともありましたが部員だけでチームづくりをできたのは、とても貴重な経験です。
- Q3 札幌市消防局に就職します。市民の生命と財産を守るべく、日々、訓練に励み、一つ一つ着実に経験を積んでいきたいと思っています。
- Q4 苦しいことを一緒に分け合った人です。大学での仲間は一生の付き合いにしていきたいですし、これからの出会いも大切にします。

2015(平成27)年度

入試動向について

入試課長 西村 元

全国の進学状況

全国の18歳人口は、1992年度の205万人から2013年度の123万人と約20年間で4割減少しています。2014年度は118万人で前年比4.1%減、2015年度は120万人と若干増加し、この増減が大学・短大への志願者数に反映されています。

大学・短大への志願者は、1992年度入試をピークに減少し、ここ数年は75万人前後で推移しています。入学定員は約65万人とピーク時からほとんど変化しておらず、近年の大学・短大全体での受験競争が緩和される傾向になってきています。

また、入試環境の変化の特徴の一つとして、AO入試(アドミッション・オフィス入試)・推薦入試による入学者の増加があげられます。この入学者数が全入学者数の4割を越えるまでになっています。それと同時に、大学入試改革においてはAO入試・推薦入試による入学者の学力の保証が課題ともなり、大学入試制度の在り方について議論されています。

北海道の進学状況

道内の18歳人口は、2013年度5万2千人、2014年度4万9千人、2015年度4万9千人と推移し、減少傾向は全国より大きい状況です。「地元志向」「国公立大学への志願増加」「受験の併願数の減少」といった傾向は道内ではより強い状況です。

北海道は元来、地元志向が強く、7割以上が地元進学をしています。近年、関東・関西圏の私立大学が地方の試験会場設置に力を入れています。特に札幌市内には道外私立大学の62校が試験会場を設けており、受験しやすさから道外流出が起こる可能性があります。

また、国公立大学への志望は依然として強く、この不況下でより一層その傾向は強まっています。さらに、道内国公立大学の一部の大学では科目選択等の変更により、受験し易くなった所もあります。多くの高校では、国公立大学進学を積極的に勧め、学校内での相談会も全国の国公立大学担当者を招いて開催しています。国公立大学

が本格的に入試広報を行う時代となり、道内はもとより弘前大学・岩手大学など東北からの広報活動も増え、道内私立大学にとっては厳しい局面です。

また、併願受験については手控える傾向にあります。一般入試の受験料は1校1学科あたり約3万円であり、受験校が増えることに受験料はもちろんのこと、交通費・宿泊費等の受験費用が増加します。近年は1件分の受験料で他の学部学科を併願出来るシステムを導入した大学もあるため、そのような大学に志願者が増える傾向にあります。

さらに、2015年度入試(今年度)は、新課程入試1年目です。今年の現役受験生からは、新課程で学んだ生徒であり、慎重な出願が続くと考えられます。

本学の2015年度入試状況について

本学の2015年度入試の志願者数(表1参照)は、一般入試1部・2部合計で3,955人、昨年比97.5%(100人減)。1部・2部別では、1部の志願者数は3,681人、昨年比100.2%(9人増)。同様に2部は274人で71.5%(109人減)です。今年度の志願者数の減少分は2部(夜間部)の志願者であり、現役高校生の減少もあります。意欲のある学生に入学してもらうための対策が必要です。

また、センター利用入試I期の志願者は、全体で2,094人(2人減)となりました。今年度のセンター入試は、基幹3教科「国語、数学、英語」の平均点アップ、17年ぶりの「得点調整」などの影響から安全・慎重な出願をしているといえます。本学受験生は、国公立大学との併願が多く、文系では小樽商科大学・北海道教育大学、理系では室蘭工業大学・北見工業大学と合格ラインが重なり、本学合格者の手続に少なからず影響が出ると思われます。

道内の18歳人口の減少は全国の減少より大きく、より良い学生を少しでも多く確保したい道内の大学にとって厳しい状況です。本学では、推薦入試の比率が他大学に比べて低く、一般入試・センター試験利用入試ともレベルの高い入学試験が行われております。この厳しい入学試験を経た向学心旺盛な学生が多数入学してきます。このことは、本学がある程度の評価をいただいている証でもあり、この評価に甘んじることなく、教育内容の充実を図りたいものです。

本学では、受験生自身が「大学で何を学びたいか」、「将来何を指したいのか」など、目標・目的をもって進学してもらうために、オープンキャンパス(表2参照)、ミニオープンキャンパス(表3参照)、各高校での出前講義・説明会、各地における相談会等を積極的に開催しております。さらに、2部(夜間部)対象の相談会開催など、社会人や学び直しを考えている方への説明を行います。是非、参加していただきたいと思っております。

平成27年2月24日(火)午前10時 一般入試、センター試験利用入試の合格発表が行われました。ほぼ昨年並みの合格者でした。努力を重ね厳しい入試をくぐり抜けてきた気概ある受験生が、一人でも多く新入生として本学の門をくぐることを期待します。

表1 平成27年度入試一般入試・大学入試センター試験利用入試(II期を除く)状況 一般入試

部	学科	志願者数				増減	合格者数 平成27年度
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	1,506	1,268	1,160	-108	471	
	経営学科	526	458	478	20	179	
	経営情報学科	396	293	324	31	145	
	法学部(法律学科・政治学科)	921	780	806	26	329	
	日本文化学科	269	267	231	-36	116	
	英米文化学科	248	245	254	9	126	
	社会環境工学科	65	78	92	14	64	
	建築学科	107	98	130	32	70	
	電子情報工学科	131	106	118	12	84	
	生命工学科	87	79	88	9	60	
1部計		4,256	3,672	3,681	9	1,644	
2部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	148	128	107	-21	75	
	経営学科	96	98	44	-54	35	
	法学部(法律学科・政治学科)	140	102	87	-15	85	
	日本文化学科	49	33	20	-13	18	
	英米文化学科	26	22	16	-6	14	
2部計		459	383	274	-109	227	
合計		4,715	4,055	3,955	-100	1,871	

大学入試センター試験利用入試(I期)

部	学科	志願者数				増減	合格者数 平成27年度
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	282	309	310	1	143	
	経営学科	219	313	306	-7	164	
	経営情報学科	151	211	196	-15	121	
	法学部(法律学科・政治学科)	191	338	347	9	181	
	日本文化学科	129	142	122	-20	91	
	英米文化学科	132	171	141	-30	104	
	社会環境工学科	127	149	143	-6	114	
	建築学科	154	188	206	18	135	
	電子情報工学科	188	172	221	49	169	
	生命工学科	104	103	102	-1	87	
1部計		1,677	2,096	2,094	-2	1,309	

一般入試・大学入試センター試験利用入試 合計	6,392	6,151	6,049	-102	3,180
------------------------	-------	-------	-------	------	-------

※経済学部・法学部は学部単位での出願です。
※増減は平成26年度と平成27年度の差です。

表2 平成27年度オープンキャンパス

	開催日	受付	開催時間
第1回	6/28(日)		
第2回	8/6(木)~7(金)	12:30~	13:00~16:00(予定)
第3回	9/27(日)		
夜間部(2部)	9/26(土)	17:00~	17:30~19:30(予定)

*大学説明会・学部説明会・模擬講義・学生スタッフ相談・学内ツアーなど実施

平成27年度ミニオープンキャンパス(地方開催)

開催日	会場	受付	開催時間
10/3(土)	函館(函館北洋ビル)	13:30~	14:00~16:30
10/24(土)	帯広(とがち館)		
10/31(土)	旭川(旭川北洋ビル)		

**大学説明会・個別説明会・推薦入試講座・大学紹介(DVD上映)など実施
*翌日の日曜日は、在学生の保護者懇談会が開催されます。

就職戦線

キャリア支援センター事務長
吉村 武彦

平成26年度の3年生(平成28年3月卒業予定者)から、企業の採用活動時期が大きく変わりました。企業の採用に関する情報の広報活動が卒業・修了年度に入る直前の3月1日から開始、選考活動が、卒業・修了年度の8月1日から開始となります。

学生たちは、自身の就職活動(自己分析・業界研究・企業研究等)自体をこれまでより遅く始めても良いと勘違いしていることも少なくありません。また、企業からの求人数も年々増加し続け、「売り手市場」という言葉が使われるようにもなっており、学生の就職活動に対する危機感が薄れる傾向にあります。一方で企業側は、活動期間が実質的に短期化するため、より良い人材をより早期に確保したいという思いが更にな強くなっています。

このような状況の中、キャリア支援センターとしましては、学生の就職活動準備期間が3ヶ月増えたと捉え、学生への本格的な支援はこれまで通り3年生の夏休み明けから開始し、新規イベントの開催や各種セミナーの開催数を増やすなど、できるだけ学生が広報活動開始となる3月までに、採用試験・面接を含みほぼ準備ができているという状態にすべく努めています。

また、公務員の採用試験の傾向として、以前の筆記試験重視から面接(人物)重視の傾向がますます強くなってきています。キャリア支援センターでは、このことに対応すべく公務員希望者向けの面接対策セミナー等の強化を図っています。

学生たちにとっての就職活動環境は依然として厳しい状況が続いており、キャリア支援センターとしましても、より効果のある支援を行うべく努めているところですが、本学を卒業され社会で活躍されているOB・OGの皆様にも、母校の後輩たちへの就職活動支援につきましてお力添えいただきたいと考えております。

公務員・教員登録状況(2015年2月現在)

		2015年/3月 卒業	2014年/3月 卒業
国家公務員一般職		52	80
国税専門官		29	25
労働基準監督官		1	1
財務専門官		2	1
裁判所職員一般		5	10
皇宮護衛官(大卒程度)		1	1
自衛隊幹部候補生		3	3
自衛隊一般書候補生		7	7
北海道職員	一般行政	30	22
	教育行政	4	2
	技術系	5	1
	警察行政	30	22
	小中学校事務		1
北海道警察	男性	74	74
	女性	15	13
警視庁警察官		7	5
その他警察官		2	
札幌市	行政	24	41
	技術系	5	4
	学校事務	2	4
	福祉	1	
	消防	15	16
その他市町村		100	118
その他 ※		73	95
小計(公務員)		487	546
公立学校教員		5	17
総計		492	563

※国立大学等独立行政法人、東京消防庁など

学部別男女別内訳(2015年2月現在)

		経済学部	経営学部	法学部	人文学部	工学部	合計
I部	男子	162	121	109	40	153	585
	女子	62	107	74	83	17	343
I部計		224	228	183	123	170	928
II部	男子	59	35	70	12		176
	女子	7	13	20	16		56
II部計		66	48	90	28	0	232
合計		290	276	273	151	170	1,160



グループディスカッションセミナー



就職ガイダンス

輝く北のまち 紹介リレー

よいちちょう
⑤余市町

～ One for All, All for One ～



人口：20,146人
面積：140.60km²

北海道内の町を訪問し卒業生とのインタビューを通じて、町のご紹介をしながら町の魅力を再発見していく企画の第5回目は余市町です。

朝のNHK連続テレビ小説「マッサン」で全国から注目されている余市町を昨年12月25日に訪問し、余市町役場に嶋保町長からお話をお伺いしました。

～新しいまちづくりの輪～



嶋保余市町長
(昭和53年経済学部経済学科卒業)

2013年12月18日に突然、NHK放送局から取材連絡の電話が来たことが「マッサン」の番組でわか町が全国に知られるきっかけでした。

前段としてまず以前の連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台となった久慈市に観光課の職員を派遣しました。町としての受け入れ対応について調査した結果、制作協力には行政だけでなく応援の為の民間活力が必要ということがわかり、余市商工会議所の三浦会頭に会長を担っていただき、外郭団体として連続テレビ小説「マッサン」応援推進協議会の設立に至りました。

イベントの企画や町民講座を主催するなど積極的に活動して、おもてなしの準備を行い道内ロケ受け入れの準備を整えました。

～姉妹都市交流と国際化～

スコットランドのイースト・ダンバートンシャイア市と以前から姉妹都市交流がりましたが、最近では年に一回のクリスマスカード交換程度に疎遠になっていました。

ところが昨年の「マッサン」の関係がありまして、また交流活動が復活し町内の中学生6名を派遣しました。これを契機にして姉妹都市交流をもう少し復活させていきたいと思っています。

子供達もそういった中で余市町の歴史をしっかりと学んで次に繋げてほしいと思っています。歴史に学んで今後のまちづくりに活かしていくという意味では、余市町はニッカさんの他にも日本で初めて結実したという会津若松市の会津藩から繋がるりんごや町が醸成した歴史についても忘れてはなりません。

ニッカさんにはアジアをはじめ外国から多くの観光客が来ています。近隣のニセコ町にも世界中から人が集まっています。新千歳空港からニセコ町に行く途中で余市町に立ち寄って観光をする人達も増えています。国際的な情報発信の対応を考慮していくということで、役場のホームページには5ヶ国語版観光情報もあります。

～余市町とニッカウキスキー株式会社～

余市町とニッカさんとは切っても切れないご縁があります。

余市町民は、「ニッカウキスキーという企業に二度助けられた」とよく言います。竹鶴正孝さんには余市町に来ていただき開業の際の強いバックアップをいただき、亡くなられた後の現在は「マッサン」の番組で全国的に放映されるということで二度助けていただいております。本当に余市町の活性化に大きく寄与していただいております。

先日、町に寄付をいただいた際に初めてニッカさんの貴賓室に入

りました。かつての窓ガラスや暖炉もそのままに保存されています。手間も費用も掛かると思うのですが歴史をしっかりと保存していただいていることは嬉しい限りです。

役場の学芸員もいろいろと勉強して、「マッサン講座」という形で町民向けや町外にも出張してエピソードや物語で語られない裏話なども披露しています。かつての「ウスキー最中」の復活や、原酒が売り切れる程の経済効果も出ているようです。

～住民との協働で住民自治基本条例の制定へ～

私が町役場に入った当時は、すべて役場が決めたことを町民に広げていくようなやり方でしたが、今はいかに町民と協働で将来のまちづくりを描いていくかということが、ソフト的なことからいっても一番大きな鍵になると思っています。

そういった意味でも、私は現在二期目ですが、町民と一緒にやっていかっていくかの仕組みを作っていくとしています。

ハード的には、やはり経済活性化や地方創生といった中で分権の時代にあっては、国の言いなりではなくしっかりと特色のあるまちづくりをしていかなければならないと思っています。

～ワイン特区の町としての将来～

後志管内にはワイナリーが多くありますが、余市町はその中でもぶどうの生産量が道内一であり古くからぶどう栽培に力を入れていています。非常に良質のぶどうが生産されていてそれらがワインになっています。質量もいいぶどうが生産されているということをもっと全国の皆さんに発信するために、北海道で初の「ワイン特区」の申請をして認定していただきました。

素晴らしい技術もあり非常に良いワインが出来ています。気候に恵まれた余市町ですから4ヶ所のワイナリーをはじめ、道外からも新規就農ということで醸造用ぶどう栽培を希望する方が増えています。ワインでのまちづくりという部分では非常に大きな経済的効果があり、専門家からも大きな評価を得ています。

更にワインやウスキーから食に繋げてまちおこしに活かしたいと思っています。6次産業化を推し進めていきたいと考えていて、JA女性部や地域の女性団体などが、農産物に付加価値を付ける新しい取り組みに向けての試みを行っています。例えばトマトジュース「サンセット」は北海道のハイグレード食品に指定されています。

～伝統の質実剛健な気質～

大学時代には田中ゼミでしたが主にラグビー部の活動に打ち込みました。蘭島から汽車通学していましたが、勉強よりもラグビーをすることが楽しみで大学に通っていたようにさえ思います。4年の時には帯広での全道大会準決勝に進出しました。

「One for All, All for One」はラグビーで学んだことでありますが、役場組織や町民との関係でも重要なことであります。これは私の信念でありバックボンの言葉であります。

町長選挙で初めて当選した際には、高校時代の仲間達が記念にメッセージ入りサインボールを贈ってくれましたが、出来ればもう一回大学に通い今度は勉強に励みたいですね。

余市町役場には北海学園大学卒業生が多くいまして頑張っています。後輩の皆さんにはサークルやアルバイトやゼミなど何でもいから一つのことに気概をもって取り組んで欲しいと思います。最近の学生は学業レベルがアップして優等生ではあるけれど、男気がある人が少なくなったように感じます。

北海学園大学の質実剛健な気質を持った、もっとごつごつした人間の登場に期待したいですね。

(取材・文責 同窓会幹事 成田真利子)



経済学部地域経済学科准教授

平野 研

—担当科目 学部 発展途上国論 I・II、演習など
大学院 発展途上国論特殊講義、発展途上国論特殊講義演習

- 略歴 1998年北海学園大学大学院経済学研究科経済学専攻修士課程修了、2006年北海道大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程単位取得中退。
2006年より本学常勤講師、2009年より本学准教授。
- ・主な業績：「ブラジル・アルフェナスでのフェアトレードタウン運動の実態と課題」（北海学園大学経済論集、62（1）：13-35）ほか。
 - ・社会活動：フェアトレードタウン認定委員（フェアトレード・タウン・ジャパン）。キューバ映画祭実行委員長。
 - ・学会活動：経済理論学会、国際開発学会、ラテン・アメリカ学会、ラテン・アメリカ政経学会ほか

北海学園の中のグローバル

私は大学院修士号を本学で取得しました。修士課程での2年間は、私の研究生生活の基盤を作ってくれた充実したものでした。多くの先生との出会いと、議論を重ねた院生同士の時間と空間は、得難い環境であったと感じています。

学部生時代を北海道大学で理論的な経済学を学んだ私にとって、北海学園大学の門をくぐって一番驚いたことは、地域研究や開発学研究が充実しているということでした。北海道を中心とした実証研究や、開発に関する理論的な研究について学ぶ機会は、新鮮で興味深いものでした。理論から実践へと目が向き、ラテン・アメリカというフィールド研究に結び付いていきました。修士課程の2年間で、世界へと広がった視界があったからこそ、現在まで研究を積み重ねることができたのだと痛感しています。

そして2007年、経済学部にて「発展途上国論」担当という職を得て、再び本学に籍を置くことができました。私自身がそうであったように、学生に世界へと目を向けるきっかけになるような講義を！という思いで教壇に立ちました。しかし、そこでの学生の反応は予想外のものでした。「外国には興味がない」「北海道から出る気がない」「途上国はかわいそう。日本に生れてよかった。（自分には関係ない）」と、世界に目を向けることに消極的な学生が多かったのです。そして、単位を取得するためだけに座っている、という姿勢の前に、私の気持ちは空回り気味でした。どうしたら、学生に途上国への関心を持ってもらえるだろうか、と苦悩する日々が続きました。

そういう状況の中で出会ったのが、「フェアトレード」活動でした。フェアトレードとは、「対話、透明性、敬意を基盤とし、より公平な条件下で国際貿易を行うことを目指す貿易パートナーシップである。特に「南」の弱い立場にある生産者や労働者に対し、より良い貿易条件を提供し、かつ彼らの権利を守ることにより、フェアトレードは持続可能な発展に貢献する。フェアトレード団体は（消費者に支持されることによって）、生産者の支援、啓発活動、および従来の国際貿易のルールと慣行を変える運動に積極的に取り組む事を約束する。」(FINEによるフェアトレードの定義より)というもので、コーヒーやチョコレート、雑貨を中心に「適正な価格」で交易をおこない、日常の買い物で生産者支援する、というシンプルな国際協力の形です。特に「消費者」としての私たちに途上国の状況、世界経済の仕組みを理解しながら、商品の価格について考えていく、という点で、最適な教材であると考えました。食べ物や衣服、雑貨など身近な商品から途上国について

考えていくことは、関心のなかった途上国へ興味を抱ききっかけとなり、講義やゼミでも少しずつ関心を持つてくれる学生が増えてきました。



大学生協フェアトレードコーナー

関心を持った

学生がフェアトレードのサークルを作り、本学の大学生協へ働き掛け、購買部（Gコン）の一部にフェアトレード・コーナーを設置することができました。常設のフェアトレード・コーナーがある大学は全国でも稀で、北海道では本学のみです（2015年2月現在）。試行錯誤しながら5年目となりますが、最近では売れ行きも好調で、売り切れになる商品も多くなります。フェアトレードの認知度自体も全国的に向上しており、スターバックスや無印良品、コープさっぽろなどから次々とフェアトレード商品が販売されています。本学の本年度の入試問題（英語）でもフェアトレードに関する出題がなされていました。学生の反応も、「高いけど買ってみたい、おいしかった」「大好きなチョコレートが児童労働で作られていることを知ってショックだった」など、実感を持って、途上国に関心を示すものが増えてきました。

もちろん、すべてが順調ではありません。毎年、十月祭にゼミとしてフェアトレード・カフェを出店していますが、高校の学祭の延長線のような現在の十月祭では、十分な理解が得られず、展示などができず、悔しい思いをすることも多いです。そのような中でも、フェアトレード活動に積極的に取り組む学生は少しずつ増えています。現在、「フェアトレード大学」という国際的な認定を日本で最初に獲得すべく、学生推進委員会設立に向けて動き出しています。学食でのフェアトレード・メニューや職員用飲料のフェアトレード商品への切り替え、フェアトレード・キャンペーンの実施、最高意思決定機関での決議など多くの基準をクリアしなければなりません。このような取り組みを通じて、本学でのフェアトレードへの理解が深まるものと信じます。そして何より、それに関わる学生の意識が世界へと結びついていく実感は、何にも代え難く嬉しいものです。

私にとって北海学園大学という学びの場は、私自身の研究を世界へと結び付けてくれただけでなく、教員という立場から、学生の世界を広げていくきっかけを生み出してくれる場でもあります。大学からの研究支援で、キューバやブラジル、国内外のフェアトレード活動を調査した成果は、学生を通じてさらに広い世界へと結びついていくものと信じています。



フェアトレードフェスタでの学生ボランティア



十月祭でのフェアトレードカフェ

ガフハルOB・OGをプロデュース

卒業生奮闘記

羊飼い・作家

河崎 秋子 氏

Akiko Kawasaki

経済学部経済学科
49期 2002年卒

■プロフィール

根室管内別海町生まれ。大学卒業後、ニュージーランドで約1年間綿羊生産を学ぶ。帰国後道内農業実習を経て2005年から実家の牧場で酪農従業員と羊飼い、自家製農家チーズの販売を担当。
2012年小説『東廬遺事』で北海道新聞文学賞（創作・評論部門）受賞、2014年小説『颯風の王』で三浦綾子文学賞受賞。



羊に魅せられ東奔西走

私は根室管内別海町の実家で羊飼いをしています。牧場の経営は現在兄夫婦が行っており、私は自分の羊を敷地の一部で飼わせてもらう代わりに酪農の従業員もしているの、実際は牛飼い兼羊飼いといったところですが…。



学生時代は当初、経済学部ということもあり、農業の道に進むことはまったく考えていませんでした。しかし在学中にぼんやりと、額に汗してものを作るような仕事を考えるようになりました。そんな折、国産羊肉の美味しさと可能性にすっかり魅入られ、羊に関わる仕事がしたいと思うようになりました。（これを羊飼い用語では『羊病に罹る』と言います）（いや本当に）。

卒業して綿羊飼育のノウハウを学ぼうと実習先を探していたところ、縁あって人からニュージーランドの牧場を紹介されました。メールでその牧場とやりとりしてみると、「夏から羊の分娩シーズンに入るの、それに合わせて勉強しに来ると良い」とのことで、早速ワーキングホリデービザを取得して現地に飛びました。今考えても運と勢いだったなと思います。

約一年間、南島の牧場で研修し、帰国した後は道内の綿羊農家や山羊農家で更に実習をしました。実習中に畜産試験場から雌羊2頭の払い下げを受けられることになり、その羊を連れて、2005年に実家に戻りました。以降色々ありつつも地道に頭数を増やし、放牧と牧草主体の餌にこだわった羊肉を出荷しています。

現在は札幌や東京のレストランに肉を卸しています。羊は基本、繁殖15頭ベースで、牛の仕事との兼ね合いを考えるとこれ以上の規模拡大はできないのが悩みどころですが、大量出荷はできない前提でも質を評価し使って下さるお店は本当にありがたいです。羊と酪農作業以外にも母が製造する農家チーズの販売担当をしており、消費者や料理する方の評判を直に聞けるというのは本当に嬉しいし、モチベーションが上がりますね。



三浦綾子文学賞を「颯風の王」で受賞

数年前からは趣味として小説を書くようになりました。学生時代に一時期文芸サークルに所属していたものの、卒業後しばらくは小説から離れていました。自分の実力はたいしたものではない、色々な事を吸収して人間としても器を広げなければ何を書いても面白いものにはならない、と考えた部分があったからでした（今思うと当たっていたのか単にヤケだったのか）。

もうすぐ30歳になろうか、という頃に「そろそろかな」と思い筆をとりました。どうしても拘束時間の多い牧場の仕事を終え、家の家事なども終えてから原稿に向かうのは夜の十時過ぎ。翌朝の五時から仕事なのを考え、その時々に残された体力と睡眠時間を計算して小説を書いていました。半徹夜が一週間続き、搾乳中に牛の乳頭を握りしめながら意識が飛びそうになったこともありました…（危ないので反省してます）。

七転八倒しながらもその後、北海道新聞文学賞、三浦綾子文学賞を受賞することができました。いずれも公募文学賞ですので、応募作はもちろん受賞したいと思いながら書きます。しかし幾ら『最高なものが書けた!』と思っても、最終的な判断を下すのは自分ではありませんから、その時その時の全力を注ぎこんで人事を尽くし、天命を待つしかありません。そのため余計に、受賞が決まった時には驚きました。

その後は友人知人や家族が喜んでくれて、よかったという実感が湧いてきました。自分一人で書いている訳ではないのだと、周囲には本当に感謝しています。受賞作は春にKADOKAWAから出版される予定で、読んで下さる方に恥ずかしくないものになるよう、現在文章の直しを必死でやっています。

農業と創作、一見接点のない作業ですが、どちらも『ものを作る喜び、人に喜んで頂く喜び』という根っこの部分は同じだと私は考えています。基本的に休日のない畜産の仕事と小説書きの作業を両立することは大変ですが、どちらも自分のやりたいことなので、一歩ずつでも精進できるよう頑張っていくつもりです。



現役学生インタビュー

北海学園大学吹奏楽団

第25代団長

高橋

歩さん

(経済学部1部地域経済学科3年)

25周年を飾る定期演奏会で感じた、演奏者としての、団長としての喜び！

吹奏楽はいつから始めたんですか？

夕張高校の吹奏楽部で兄がチューバをやっている、楽しそうだなと思って僕もチューバを始めました。大学では、友だちをつくりたいと思って吹奏楽団の見学に行ったら、すごく優しくしてくれて、雰囲気もよかったですので入団しました。チューバの先輩がすごく上手で、教えてもらいたいなと思ったこともきっかけになりました。ただ、1年のときは編成上の理由からフルートを担当し、2年からチューバに戻りました(笑)。

吹奏楽の魅力は？

吹奏楽は、スポーツと一緒に、チームプレーが大事です。お互いの音量や音程、音色などを合わせつつくりあげていく。それら全部がそろったときにいいサウンドになって、とても気持ちがいいんです。その喜びのために、みんなでがんばっています。その中で、チューバは低音楽器ですから、演奏全体を包み込むように支え、テンポをつくっていく。そういったバンドを左右する力があって、音量の違いを生み出せる楽器なので、そのダイナミクスでお客さんに感動を与える重要な役割を果たすところに魅力を感じています。

吹奏楽団では、どのような活動を行っているんですか？

学内外のさまざまなイベントで演奏活動を行っています。



全日本吹奏楽コンクールと定期演奏会が大きな目標です。高校では上限25人までのC編成しか経験できなかったんですが、上限55人のA編成でコンクールに出ることができ、特に僕が2年のときには全国を目指そうと団員の勧誘活動も頑張った。55人MAXでの出場が叶いました。そうして、全道大会で吹奏楽団としては十数年ぶりの金賞を受賞できました。残念ながら、上位1校のみが進める全国大会には進めませんでした。

練習は、僕が1年生のときは週3回だったんですが、2年生のときに全国に行くためにもっと練習しようということ週4回にし、いまもそれを踏襲しています。月・水・金は2部生も参加できるように18:00〜21:30、日は10:00〜16:00で、本番直前は毎日練習をして臨んでいます。週1回はそれぞれのパートの人たちが時間を決めて、パート練習も行っています。

第25代団長として、1年を振り返っていかがでしたか？

団長をはじめとする幹部は、毎年11月に交代し、僕は2013年11月から1年間団長を務めました。幹部交代のときに1年間の目標を

設定するのですが、僕達の間でも全国大会を目指して練習していたのですが、事情によりコンクールに出場する事ができませんでした。団長として、みんなの意志疎通を図り、意見を集約することがいちばん難しく、全国を目指すという点ではちょっと残念でした。

吹奏楽団は、2014年、創立25周年を迎え、例年になく活動も行いました。一つは、OB・OGとの交流がなかったので、3月にOB・OGの方たちを招いて一緒に演奏し、交流会も行いました。もう一つは定期演奏会です。例年は札幌市民ホールなどを使用するんですが、初めて札幌コンサートホールKitaraで開催、900人以上のお客さんに来ていただき、とても盛り上がり大成功でした。定期演奏会で幹部交代式も行うので、それで団長の役目を全うすることができました。団員や先輩からも感謝やねぎらいの言葉などでもやり遂げたという思いを強く感じ、団長として素晴らしい経験ができました。同じ目標を持って活動する「仲間」を持てたことも、自分にとつての大きな宝物になりました。

今後の演奏活動は？

これからは、自由参加になりますが、就職活動が終わるまでは参加はしないつもりです。演奏ではなく、楽器運搬などでお手伝いすることはあるかもしれませんが、卒業後は、公務員を志望しており、

どこかの市民バンドの活動に参加して演奏を続けていきたいですね。

これからの吹奏楽団に期待することは？

僕個人の思いとしては、コンクールで全国大会に出場するなど、高いレベルの演奏を目指しつつも、サークルとして楽しいものになるように、お互いのことを思いやって活動してほしいなと思います。同時に、吹奏楽をやっている人間にとつて、演奏する場を提供してもらって、初めて自分たちの音楽をお届けすることができればいいです。ですから、普段からお世話になっている常任指揮者の河井裕司さんやコーチの先生方、OB・OGの方々、学生部の方々などに、常に感謝の気持ちを表しながら活動していつてほしいと思っています。



Kitaraでの定期演奏会リハーサル風景

OPEN SPACE

オープンスペース

教育支援振興資金 奨学金事業開始

北海学園大学同窓会第1種奨学金(月額1万円)を、全学年を通じ各学科1名、計19名に対し平成27年度から給付する。今後大学の関係部局と調整を図り、円滑な運用に向けて体制を整備する予定。

第47回衆議院議員総選挙当選者(2014年12月14日投票)

平成26年12月14日の衆院選で昭和59年経済学部経済学科卒業の中村裕之氏(北海道4区自民現)が2期目の当選を果たしました。

平成26年「司法試験」2名合格

平成26年司法試験の合格者が2014年9月9日に法務省から発表された。本学法務研究科(法科大学院)からは42名が受験し2名が合格した。本学修了生7年間の合格者数は31名(平成20年度2名、21年度7名、22年度3名、23年度10名、24年度4名、25年度3名、26年度2名)となった。

〈司法試験合格者〉高田英明さん、黒田清彰さん

建築学科卒業40年「寺和会」

S48年大学着任1年目のコンクリート工学専門の寺田米男教授(H6年病死)に卒論指導を受けた12名(S49年工学部建築学科を卒業)が毎年1回先生を囲み、酒を酌み交わし近況を報告する会を「寺和会」と称し、今年で40回を迎えた。21回目からは寺田先生の姿を見ることは出来なくなったが、教子子は1人も欠けることなく毎年集う。インドネシアで現地技術者を育てている元地崎マンの高橋、整骨院を継ぎ現在北海道道整復師会会長の萩原、定年後も現役を続ける者など、40年前大学実験室で寺田先生や菊地助手と一緒に夜遅くまでコンクリートミキサーを回し、テストピースを潰しデータ集めをした仲間であることは忘れられぬ財産、絆であり、我々の原点でもある。



(文責 建築3期卒 同窓会幹事 城 秀夫)

協賛 ● 平成26年度『同窓の夕べ』ビンゴ景品一覧 ★ビンゴ景品のご寄贈ありがとうございます

- | | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| ●海外旅行(2泊3日)ペアでご招待 1本 | ●清酒「北の錦」本醸造 12本 | ●小林酒造(株) |
| ●温泉旅行(定山溪・登別・洞爺1泊2日)ペアでご招待 5本 | ●特別純米酒 まる田 6本 | ●ジンコーポレーション(株) |
| ●ヘルシーフライヤー 1本 | ●ミニ焼き屋台 2本 | ●北海学園大学同窓会 |
| ●折りたたみ自転車 8本 | ●図書カード 1,000円 20本 | ●中西印刷(株) |
| ●東京ドームホテル札幌宿泊券 1本 | ●芋焼酎 海童「祝の赤」 20本 | ●カタギリ・コーポレーション(株) |
| ●パークゴルフセット 3セット | ●ワイン 20本 | ●道路工業(株) |
| ●東京ドームホテル札幌食事券 5,000円 2本 | ●アサヒスーパードライ 8セット | ●三共商事(株) |
| ●ホテルノースシティ食事券 2本 | ●FOTOPRO カメラ三脚 3本 | ●(株)マキ商会 |
| ●ふとん乾燥機 1本 | ●FOTOPRO スマートフォン用三脚 5本 | ●(株)マキ商会 |
| ●ミル&ミキサー 1本 | ●2段バスケット 5本 | ●(株)すぎたま |
| ●サイクロンスティック型クリーナー 1本 | ●低反発チップ枕 2本 | ●北海学園大学同窓会 |
| ●札幌パークホテル食事券 6本 | ●北の想い出 20本 | ●(株)ナシオ |
| ●お米券(8kg) 5本 | ●オルガヘキサシート(携帯用カイロ)・オルガヘキサネックバンド 各800本 | ●(株)ニトリホールディングス |
| ●JCBギフトカード 5本 | ●フランチェスカ こがしきなこウエハース 120本 | ●(株)坂口製粉所 |
| ●ジャスマック温泉券 ペアでご招待 2本 | ●北海道産ゆきびりか きな粉 40本 | ●(株)坂口製粉所 |
| ●JCBギフトカード 2,000円 2本 | | |

平成26年度

『同窓の夕べ』ビンゴ当選者

- ヘルシーフライヤー 1台 荒井 雅志氏 昭59法
- ニトリホールディングス オルガヘキサシート・ネックバンドセット 出席者全員
- 海外旅行 2泊3日 ペア1組 高橋 信重氏 昭58経
- 宿泊券 東京ドームホテル札幌 1名 熊谷 嘉行氏 昭61経

●温泉旅行 道内温泉1泊2日 ペア5組

- 宮川 忠氏 昭36経 大井 邦浩氏 昭59法 上村 英史氏 平元 建
- 小原 光一氏 昭52経 後藤 聡氏 昭63法

- パークゴルフセット 3台 諸橋 祐一氏 昭44経 高井 秀二氏 平 2 経 酒井 淳史氏 平21法
- 自転車 折りたたみ 8台 五十嵐勝彦氏 昭40経 引地 俊一氏 昭57建 毛利 昇氏 平 6 土
- 林 進士氏 昭40経 宮町 康吉氏 昭57経 能登 聖子氏 平 8 法
- 老松 忠司氏 昭44経 東 昌博氏 平 2 経



アユタヤ(エレファントライド)



ワットアルン(暁の寺)

す。最後にこのように機会を与えてくださった同窓会事務局様に感謝申し上げます。

「Bingo」この瞬間から800分の1の幸運が始まりました。司会の方から「一等賞品はタイ旅行です!!」と目録を受け取りガッツポーズ。目録を開けると行き先は「タイ」ならぬ「タイワン」というオチまで付いていました。今回の同窓会は、3年前まで東急グループの旅行会社に勤務していた縁で「東園会」とうんかいこのメンバーとして参加させていただきました。

ツアーは株式会社遊プランの菊地さん(学園OB)にお願いし1月23日から27日の日程で司会者のお告げどおり「タイ王国のバンコク」へ行ってきました。日頃の行いが悪いらしく、初日は航空機の機材故障で6時間機内に閉じ込められた末に欠航、ススキノのエクセルホテル東急に宿泊し、たつぷり東急グループの縁を感じました。翌日も2時間遅れですが無事テイクオフ。2泊4日の旅となりましたが、暁の寺院や王宮、エメラルド寺院などバンコク市内観光、世界遺産のアユタヤ遺跡・バンパイン離宮を見学し、大変思い出深い旅となりました。現在は北広島市にある社会福祉法人北ひろしま福祉会に勤務していますが、北広島市は学園OBの上野正三先輩が市長をされています。どこ

グレートビンゴ
当選者
旅行記

高橋 信重 経済学部経営学科 昭和58年卒業

800分の1の幸運

支部紹介

北見支部

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。
昭和46年に当時の北海道網走支庁管内在住の同窓生で組織されたのが支部のルーツです。

創立：昭和46年

〈会長〉

辻 直孝 (つじ なおたか)
昭51年卒 経済学部経済学科
北見市常呂自治区長



辻 直孝 会長

〈顧問〉

菊池 一春 (きくち かずはる)
昭45年卒 経済学部経済学科
訓子府町長

〈事務局長〉

古山 康弘 (こやま やすひろ)
昭61年卒 経済学部経営学科
北見市教育委員会事務局

会員数：94名

連絡先：〒099-2194

北見市端野町二区471番地

北見市教育委員会事務局社会教育部

古山康弘(事務局長)

TEL. 0157-33-1869

▶支部の始まり

北海学園オホーツク会の創設

昭和46年、当時の北海道網走支庁管内（現北海道オホーツク総合振興局管内）在住の北海中学、北海高等学校、札幌商業学校、札幌商業高等学校（現北海学園札幌高等学校）、北海学園大学の卒業生による同窓会組織「北海学園オホーツク会」が創設されました。その創設は、現北海学園大学同窓会副会長の名塩良一郎様（経済2期昭30年卒）のご尽力によるもので、当時で会員数163名を有し、うち北海学園大学の卒業生も44名在籍されておりました。今も、その当時の名簿資料が残されており、風景写真付きで和文タイプが用いられた印刷製本版は、貴重な資料となっています。当時の事務局は「名塩商店内」と記されています。

その後、昭和52年、当時の北海学園北見大学（現北海商科大学）の開学とともに事務局が同大学内に移転され、昭和56年には、同大学の卒業生、昭和61年には、当時の北海学園北見女子短期大学の卒業生を迎え、北海学園グループの卒業生が勢揃いする同窓会へととなりました。合わせて会則を施行し、あらためて組織体制が確立され、北海学園大学同窓会北見支部は副会長の任に就くこととなり、顧問に北海学園大学同窓会長の森本正夫様（経済2期昭30年卒）、相談役に副会長の名塩良一郎様、また、事務局には当時北見大学職員の楠文彦氏（経済24期昭52年卒）、葛西史康氏（経済29期昭57年卒）がご就任されました。以降、平成4年、9年、14年の5か年毎に各高等学校、大学の卒業生が一同に会し、総会・懇親会が開催され、当時の資料から、600人を超える同窓生へご案内状が届けられた組織となっております。

しかし、その後大きな転機を迎えます。平成18年の北海商科大学札幌キャンパスの設置に伴い、大学事務局が北見から札幌へ移転されることとなり、また、会長を務められていました水元尚也氏（工土木2期昭48年卒）の急逝（平成19年8月）も重なり、活動の休止を余儀なくされたところであり、



昭和46年度のオホーツク会会員名簿

北見支部として

北見支部の活動は、「北海学園オホーツク会」の創設とその歩みに重なります。

水元氏他界の後、就任されました辻直孝支部長のもと、小原



平成26年度北見支部総会

光一事務局長（経済24期昭52年卒）は、平成24年春、同期卒の伊藤達生氏、柴山耕一氏とともに、およそ10年ぶりとなる支部総会の開催に向けた準備組織づくりに奔走されました。同年秋には、開催準備会会長に着任されました山崎基司氏（経済17期昭45年卒）のもと、北海学園大学同窓会事務局のご支援と総勢25名の準備会会員の尽力により、翌平成25年7月5日に、北見市、訓子府町、置戸町に在住の北海学園大学同窓生からなる北見支部の総会の開催に至ったところです。翌平成26年にも開催し、北海学園大学同窓会事務局長の高田哲也様に来北いただき、例年10月に開催の同窓会「総会」、並びに「同窓の夕べ」と「同窓会結成60周年記念式典」開催の内容などエピソードを交えながらご紹介くださり、一同、熱心に耳をかたむけておりました。



平成26年度北見支部総会での支部旗贈呈

▶支部のこれから

平成26年度における北見支部総会の開催では、94名の同窓生にご案内しましたが、各会員からは「もっと多くの同窓生が居るはず」との情報も寄せられています。名簿の調製には個人情報保護の壁もあって難しさもあるところですが、会員一人ひとりの絆を大切して、地道に同窓生の和を広げていくことで叶うものと考えています。今後も「支部旗」を囲んで、より多くの同窓生との交流と懇親を深めることができる支部活動を目指します。

(記 古山康弘)

◆◆◆◆◆ 支部だより ◆◆◆◆◆



東京支部首都圏会



稚内支部



釧路支部



旭川支部



北見支部



ゆうほう会



豊陽会



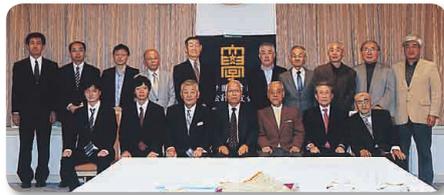
北社会



木端会



応援団 OB 尚志会



会計学友会



伊藤組土建支部



経三期会



経八期会

支部総会開催報告

(平成 26 年 9 月以降)

H26. 9. 8 ゆうほう会 9.13 経三期会 9.17 稚内支部 10. 3 東京支部首都圏会 10.25 会計学友会 10.25 経八期会	H27. 1. 8 豊陽会 2. 7 応援団 OB 尚志会 2.20 木端会 2.21 北社会 2.23 伊藤組土建支部
--	--

平成27年度支部総会開催予定 (上半期分: 平成27年4月~9月)

支部総会 (予定)	場 所	連絡先
4月	写真部 OB 北彩会 (4/11)	会長 成田 民治 TEL : 011-895-4855
	苫小牧支部 (4/25)	中国料理 季華 事務局長 谷口 孝朗 TEL : 090-8899-4434
	グリークラブ OB 会 (4/25)	ホテルノースシティ 会長 沖本 英昭 TEL : 090-6445-9187
	山岳部 OB 会 (中旬)	未定 事務局長 名越 茂 TEL : 011-822-8664
	5月	千歳支部 (5/14)
帯広信用金庫支部 (5/30)		ホリデーインホテル十勝川 幹事長 小林 文寛 TEL : 0155-23-3171
岩見沢市役所支部 (中旬)		未定 副幹事長 高瀬 正浩 TEL : 0126-23-4111 (内線 442)
北海学園大学支部 (下旬)		北海学園大学 支部長 笹川 雅司 TEL : 011-841-1161 (内線 2226)
小樽支部		未定 事務局長 島口 利一 TEL : 0134-54-8018
江別市役所支部	未定 事務局長 東 嘉一 E-Mail : y.azuma@city.ebetsu.lg.jp	
6月	経五期会 (6/1)	札幌東急 REI ホテル 事務局長 中川 正昭 TEL : 011-857-5588
	静内支部 (6/5)	ホテルローレル 幹事長 本庄 康浩 TEL : 0146-43-2111
	経六期会 (6/6)	未定 事務局長 桑山 博年 TEL : 011-665-1351
	空知支部 (6/13)	北海道グリーンランド サンプラザ 事務局長 小川 朋栄 TEL : 090-2055-0135
	サッカー部 OB 会 (6/13)	KKR ホテル札幌 B1F プールテル 会長 阿波 昭則 TEL : 090-6994-9069

支部総会 (予定)	場 所	連絡先
6月	蝸牛会 (6/28)	ホテル鹿の湯 会長 木津谷士朗 TEL : 011-683-2727
	道南支部 (下旬)	フレンチレストラン・クリマ函館 会計幹事 堀内 博志 TEL : 0138-56-2233 E-Mail : hori5623@msc.ncv.ne.jp
	岩田地崎建設支部 (下旬)	岩田地崎建設(株) 本社会議室 評議員 行方 和夫 TEL : 011-221-2221
	北翔会 (下旬~7月上旬)	未定 幹事長 伊藤 慶司 TEL : 011-562-3066 E-Mail : ito-k@meicon.co.jp
関西支部	未定 支部長 澤 定夫 TEL : 0797-32-4601	
7月	北見支部	未定 事務局長 古山 康弘 TEL : 0157-33-1869
	札幌東区支部	札幌市中央区 支部長 佐藤 寿一 TEL : 090-3397-0664
	札幌市役所支部	札幌サンプラザ 幹事長 神山 明弘 TEL : 011-211-2278
つうけん支部	未定 幹事長 白崎 智 TEL : 011-860-1197	
東園会	札幌東急イン (予定) 会長 大庭 雄一 E-Mail : yuichi_ooba@jotetsu.co.jp	
9月	経三期会 (9/12)	ホテルノースシティ (予定) 会長 宮崎 文彦 TEL : 011-551-2215
	ゆうほう会 (9/27)	札幌全日空ホテル 2階バルテール 総務 村口 康博 TEL : 011-884-3894
	稚内支部 (中旬)	市内ホテル 事務局次長 熊谷 幹男 E-Mail : hokkaikuma@live.jp

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈りします！

【ワンダーフォーゲル部】 主将 貫田 宗平 経済学部経済学科3年

ワンダーフォーゲルとはドイツ語で「渡り鳥」という意味があります。実際ワンダーフォーゲル部とはどのような活動をする部なのか知らない方も多いでしょう。ワンダーフォーゲル部は「渡り鳥」と称するように様々な地に訪れ、山や川などの自然を相手に活動する部になります。具体的に言えば、登山やカヌー、キャンプ、スキーなどを行う部です。登山と聞くと、山岳部と何が違うのだろうと思う方もいるでしょう。大きな違いは登山以外もするという点です。ワンダーフォーゲル部は自然を相手にすることならどんなことでもやります。代表的なのがカヌーです。時には湖の上でゆったり進む時間を楽しみ、時には激流にもまれるスリリングな時間を楽しむことが出来ます。



私たちがいる北海道は特に豊かな自然に恵まれた場所です。私たちは北海道を舞台にその豊かな自然を相手に隅々まで遊びつくすことを目標としています。特に苦労して登った山の山頂から見る景色は登った達成感も相まって圧巻の絶景です。街中にいるだけでは絶対に味わえない体験がそこにはあります。そんな体験を望む方は是非ワンダーフォーゲル部を覗いてみてください。

【グリークラブ】 団長 清水 康雅 経済学部経済学科4年

北海学園大学グリークラブは1951年(昭和26)に創部され、1952年に正式発足しました。『グリークラブ』という名前が示す通り、創部以来長い間男声合唱団として活躍して参りました。2009年に混声合唱団となった今も、多くの先輩方が築き上げた歴史と伝統を受け継ぎ、日々練習に励んでおります。一時期は2名にまで少なくなった団員も現在は25名と年々充実しており、皆が和気藹藹と活動しています。現在の団員は、中学・高校にて合唱部員であった経験者と大学で合唱を始めた人の割合がちょうど五分であり、教え教わりながら合唱に親しんでおります。2014年度に行われた第65回北海道合唱コンクール大学・職場・一般部門では、混声化して以来2回目の出場ながら銀賞を獲得し、団員一同翌年は更に良い結果を残せるよう向上心に満ちて日々の練習に邁進しております。



私たち北海学園大学グリークラブは、毎週月、木、土曜日に練習しています。定期的にプロのボイストレーナーに練習を依頼して、団員の実力を伸ばす練習もしています。私たちは合唱に親しみ、合唱の楽しさを自分のみならず、演奏を聴いて下さった人にも楽しさが伝わる様な合唱を心がけています。毎年、コーラスフェスティバルや市民合唱祭、他の大学合唱団や一般合唱団と協力して行う合唱行事等を通じて、楽しみながら練習の成果を発表しています。一年の集大成は毎年2月に行われる定期演奏会で、団員は定期演奏会開催に向けて日夜練習に取り組んでおります。私たちは来年度以降も更なる躍進に向けて日々努力して参ります。北海学園大学グリークラブの名が一層天高く飛翔するよう、団員一同更に奮起して活動に取り組む所存でありますので、今後とも暖かい御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

◆支部長交替

経八期会

中鉢 光次氏 ⇒ 田中 眞氏 (昭和36年経済学部卒業)
平成26年10月25日付

釧路支部

花井 啓司氏 ⇒ 花井 紀明氏 (昭和38年経済学部卒業)
平成26年12月6日付

北社会

東 彰氏 ⇒ 工藤 一幸氏 (昭和54年工学部卒業)
平成27年4月1日付

◆訃報

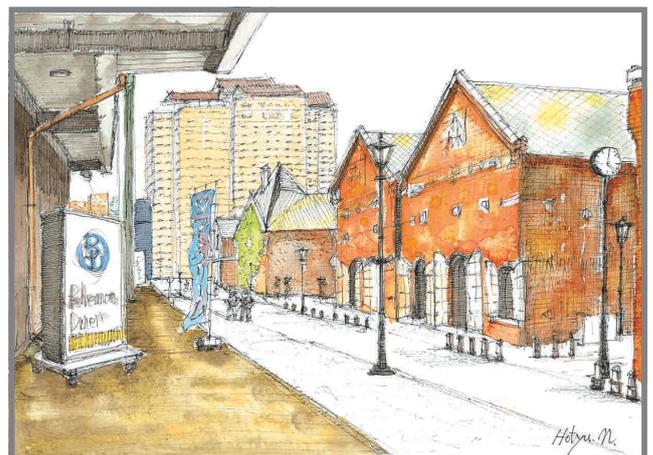
吉沼 史祝氏

昭和31年経済学部卒業
平成26年9月24日逝去 (82歳)
新学生歌「北の都に」 作詞

佐々木 昭氏

昭和39年経済学部卒業
千歳支部前支部長 (平成17年~平成24年)
平成26年12月8日逝去 (74歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



道内探訪 vol.4 スケッチ

「赤レンガ倉庫群」(函館)

中村 保忠 作

プロフィール: 経済学部経済学科 昭和41年卒業
奈良芸術短期大学 洋画コース卒業
奈良市在住

平成27年度 行事予定

6月	評議員会 (6/25)
10月	ホームカミングデー (10/10) 全国支部長会議 (10/24) 同窓の夕べ (10/24) (総会・懇親会)
3月	卒業祝賀会 (3/20)

住所等変更届けのお願い

会員の皆様へ、お名前、ご住所、勤務先等に変更が生じた場合は、お手数でもFAX・ホームページ、または同封の「住所等変更届ハガキ」にて同窓会事務局までお知らせ下さいますようお願いいたします。個人情報情報は同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161 (内線 1148) FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>